



社長ご挨拶



当社は2020年7月1日をもって創立35周年を迎えることが出来ました。 これまで支えていただいたお客様方やお取引先様、株主、社員の皆様 に心から御礼を申し上げます。

当社は1985年に株式会社東芝の関係会社「東芝ピーエム株式会社」 として設立されました。2019年11月には株式譲渡によりトランスコス モス株式会社の傘下に入り、2020年4月に社名をTTピーエム株式 会社に変更し、今日に至っています。当初10名でスタートした当社は、 今では170人を超える従業員の会社に発展しました。

これまでは東芝が開発した電子ファイリングシステム(TOSFile)やOCRシステム、情報活用クラウドサービス(Eiplaza)等を利用して、健康保険組合向けサービスやドキュメント電子化、データエントリーのサービスを提供してきました。最近では、AI-OCRやRPA(Robotic Process Automation)も取り入れるなど、プロセス(業務)と人(作業)にIT(技術)を融合した生産性向上の取り組みも進めています。今後は、デジタル化の拡大にあわせて「データ」の価値が益々重要になると言われています。

AIの品質を左右するアノテーションサービスも提供し、軌道に乗ってきたところです。

最近ではBPOサービスの最大手であるトランスコスモスグループに加わったことで、新たな気持ちでサービスの提供に取り組んでいます。 今後はサービスの専門性を更に高めて、これまで育てていただいた東芝グループにサービス提供を通じて還元することで、少しでも恩返しができればと考えています。

また、新型コロナウイルスの影響で働き方改革が加速する中、アフター コロナの時代にはペーパーレスが更に加速すると言われています。時代 の流れに合わせた事業内容の変化、進化にこれからも心がけていき たいと思います。

最後に、35周年を機にあらためて、行動指針に掲げる「誠実」を肝に 銘じて邁進していく所存です。

今後ともより一層のご愛顧、ご支援を賜わりますよう、よろしくお願い 申し上げます。

代表取締役 社長 末永 司

ご祝辞 創立35周年に寄せて



東芝健康保険組合理事長

塩川 浩久

TTピーエム株式会社の皆さま、創立35周年おめでとうございます。

また、日頃より、レセプト管理センターの運営をはじめとした東芝健保組合への多大なご支援に対しまして心より感謝申し上げます。

貴社と当健保組合との関係は、1998年に貴社の前身である東芝ピーエム㈱のご協力を得て行った業務システム再構築とそれに伴うレセプトデータ集中管理に着手したことに始まります。

その後、レセプト・現金給付・第三者行為求償等保険給付に関する業務、特例退職者及び任意継続者に関する適用業務、各種健診(検診)データの収集・チェック・照会業務等、当健保組合における基幹業務の数々を日々誠実に遂行いただき、今はまさにかけがえのないパートナーであると感じている次第です。

さて、コロナ禍にある今、健保組合のIT化は急務となっております。そのような中でシステム構築力・対応力を強みとする貴社をパートナーに持つことは大変心強く、貴社のお力添えをいただきながら、早期に紙ベースからの転換を図って参りたいと考えます。

今後もよりよいパートナーシップのもと、当健保組合加入員へのサービス向上に向けて変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、創立35周年を迎えられますTTピーエム株式会社の益々のご繁栄を心からご祈念申し上げます。



トランスコスモス株式会社 上席常務執行役員 (TTピーエム株式会社 取締役)

内村 弘幸

この度は、TTピーエム株式会社の創立35周年を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。

これまで東芝グループの一員として、東芝各社が展開する各種ソリューションの中で電子化業務を得意分野に、その責務に対して永年専門性を踏まえた実績を積んでこられたことと認識しております。

その功績は経営陣の皆様、そして全ての従業員の皆様が一体となって努力してきた結果であると推察 いたします。素晴らしい、の一言です。

そして昨年、貴社は私共トランスコスモスグループの一員に加わって頂きました。

弊社も54年前に電子化業務から起業し、市場動向に即して業態を変化させ、今日に至っております。

今後の貴社にもトランスコスモスグループの一員として、東芝グループの骨太で強靭なビジネス基盤を「ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)」という切り口から支えてゆくことを念頭に置き、そのノウハウを東芝グループのお客様へと展開することに、弊社と共に邁進頂く事を期待申し上げます。

お客様のビジネス基盤を支えるため、トランスコスモスとの協力体制で今まで以上の広い視点とデジタルトランスフォーメーション(DX)を融合させ、必ず成功する、という信念をもって一緒に推進していきましょう。 未筆ながら、TTピーエム株式会社の一層のご繁栄を期待すると共に、従業員皆様方の健康とご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせて頂きます。



東芝デジタルソリューションズ株式会社 業務変革・情報システム統括部 ゼネラルマネジャー

菅澤 孝佳

この度は、貴社創立35周年、誠におめでとうございます。

35年もの長きに渡って確実に発展を遂げられた貴社の実績と皆様のご努力に敬意を表すと共に、貴社の一層のご繁栄を心より祈念申し上げます。

貴社の更なる事業転換・発展並びに成長の加速を図る為に、トランスコスモス株式会社の傘下に移り、より 専門性の高い知見を得て、1年余りが経過し、業務支援での当社との繋がりは次のステージへと進んで いると理解しております。

現在の厳しい環境下にありながらも、自らの変革を進め、基盤となる事業の強化を図り、貴社自身の発展を確固たるものとすると同時に、東芝デジタルソリューションズをはじめとして東芝グループ各会社への業務支援にも一層寄与いただければと思っております。

今後もコロナ禍で困難な状況は続くと思われますが、皆さま、くれぐれもお身体にはお気をつけて、創立時からのモットーである「誠実」の心を大切にしつつ、更なる事業発展に向けて走り出して頂けますよう祈願しております。

略儀ながらご祝辞申し上げます。

未来へ向けた提言

— 近未来のTTピーエムのかたち

創立35周年を記念し、現在各部門の業務の最前線で活躍する社員たちに

集まっていただき、座談会を実施しました。

テーマは『近未来のTTピーエムのかたち』。

35周年を超えてさらに当社が発展していくためには、

どのようなことが必要と考えているのでしょう。

なお、この座談会は万全なコロナ対策を施したうえで、オンライン上で実施されました。



現在の業務について

―まず最初に、現在はどのような仕事をされているのか、業務内容 についてご紹介ください。

繁本さん:私は営業部で営業、バックオフィス業務に従事しています。 見積書や検収書、請求書、納品書の作成や社内での発番依頼、売上処理 依頼などに加え、すべて処理が終わった書類をエビデンスとして保管する という仕事です。だいたい月平均で100案件程度の事務処理を担当 しています。

佐藤さん:私は2001年入社でここにいるメンバーの中では2番めに 社歴が古いことになります。かつてはスタッフ部門で仕事をしていた こともありますが、今はドキュメントマネージメントサービス部 (DMS) に 所属し、スタッフ部門での経験を活かしこれを如何にサービスとしてお 客様に提供するのかを考え、組み立てる仕事をしています。

鶴元さん:私もDMSに所属し、マイナンバー関連の仕事をしています。 企業のお客様からマイナンバーをお預かりし、適切に管理する仕事 です。また業務系BPOサービスが今後の全社的な成長領域ということ で、その仕事も兼務している状況です。

水野さん:私は比較的新しい部門のアノテーションサービス部(ANS)で仕事をしています。AIに学習させるためのデータ加工する仕事です。 具体的には自動運転のためのAIには膨大な数の画像情報を学習させる ことが必要で、お客様に対して学習効率を上げるためのご提案を行い ながら画像内の情報を整理する業務をしています。

立花さん:私はヘルスケアサービス部 (HCS) で健康保険組合関連の 仕事をしています。委託を受けている健康保険組合様から、組合員様の 受診情報や健康診断の結果といった情報を管理する仕事です。

石田さん:私は2020年4月にTTピーエムに合流したばかりです。正直 「35周年」という今回の趣旨的にはあまりお話しできる内容はないかもしれませんが(笑)、TTピーエムとは東芝デジタルソリューションズ時代からはEiplaza等、最近はRPAの運用などで一緒に仕事をさせていただいています。

仕事としては、東芝デジタルソリューションズ社の売上、請求、売掛消込 処理を中心に、関連する証憑の管理を行っています。

大塚さん:私も石田さんと同じく、2020年4月にTTピーエムに入社したばかりです。仕事としてはスタフ業務サービス部のデジタルマーケティンググループに所属し、展示会の運営サポート業務に携わっています。 芝本さん:私は管理部に所属しています。人事や総務、経理、調達など、さまざまな仕事をやっている部門になりますが、私自身は人事系がメインです。入社時や退職時の手続き処理や給与支払い関連の作業に従事しています。



それぞれが考える 近未来のTTピーエムのかたち

一なるほど。最近合流された方も含め、同じ会社の中でも、実に多種 多様な仕事があることがわかりました。では次に、みなさんそれぞれ の業務を通じて、TTピーエムの近未来像をどのようにとらえている のか、教えてください。

繁本さん:近未来のTTピーエムを考えるときに、やはり現在のコロナ禍の影響ということは大きいです。ここを入口にお話しします。私の仕事には印鑑がつきものです。コロナ禍で在宅勤務が推奨されていますが、私が在宅で仕事をしたとしても、印鑑がある以上、承認者である上司に会社にいてもらわなくてはなりません。この時に印鑑の電子化ということを考えました。さらに、今は印鑑をもらうための承認プロセスにも紙を用いていますので、電子印鑑に付随して紙承認をワークフロー承認に変える必要があると思っています。

それから、売上処理や発番依頼など、営業だけでは完結しない業務もありますから、ワークフロー承認を各部署につなげていくことも不可欠です。ハードルはたくさんありますが、それらが実現できれば、コロナ禍、デジタル化という観点で、ニューノーマル時代に適した働き方ができるようになると考えています。

もうひとつ、文書保管についてもデジタル化は急務です。紙の書類は法律 に則して10年保管を実施していますが、ちょっと計算したところ、1案件 につき10枚程度の書類、それが毎月100件、10年分とすると、少なく とも12万枚もの書類を社内に保管しているのが現状です。これは少ない 数ではありませんよね。

国税関係書類は電子帳簿保存法という法律に則った管理が必須であり、これはなかなかクリアするのが難しいのですが、ゆくゆくは社内に導入していきたいですね。さらに運用ノウハウを蓄積すれば、将来の新しいビジネスにもつながるのではないかと考えているところです。ということで、脱印鑑、脱紙運用、脱紙保管と『3つの脱』を進めていきたいなと思っています。

佐藤さん:デジタル化ということでいえば、私が入社した頃はTOSFile

業務が終息し、今のBPOにつながるアウトソーシングビジネスに移行しつつあった頃で、当時の大きなテーマは紙の電子化ということでした。それは大きなターニングポイントになったと思っています。たとえば、私が携わっていたところでは、特許データやその他の技術資料の電子化が大きなテーマになっていましたが、今や特許は電子出願になっています。社会的な背景や要請があることはもちろんですが、そうしたデジタル化の流れがますます加速しているのだなと感慨深いものがあります。

TTピーエムの将来の話をするなら、私はRPAの業務にも関わっていますが、RPAとはあくまで手段であり、どのようにサービスを提供していくのか、そのサポートをするものだと認識しています。今はDMSのBPOサービスとRPAでサービス連携していませんが、これらを統合したひとつのサービスとして提供していくことを進めていかないと、なかなか競争力につながらないでしょう。部や課の縦割りではなく、より連携を深めていきたいと考えています。

鶴元さん:私もデジタル化という切り口からお話ししますね。マイナンバーの収集は紙の書類を送付し、マイナンバーカードなどのコピーを取り、それを返信していただき、ローカルネットワークの中でパンチして保管するなど、完全に外に出ないように配慮しています。ところが最近はスマホを使っている競合もあり、スピードではそこになかなか勝てません。きちんとしてセキュリティを確保しつつ、いかに利便性に優れたサービスを構築するかがポイントになると考えています。

水野さん: ANSでは大量の画像データをスピーディに提供するということがカギになります。 AI学習の元データを作るのはマンパワーに依存するところが大きいため、鶴元さんが競合という話をされていましたが、海外から低コストで対抗してくる競合が登場したら、なかなか競争できません。 そこをいかにカバレッジするのかは今後の大きなテーマになると思っています。

立花さん:私も業務のデジタル化については関心があります。私たちの作業は重要な個人情報を扱うということで、閉鎖されたネットワークを用い、物理的にも入室管理などでセキュリティが確保されたエリアで行うのが大前提です。現在のお客様にもそこを高くご評価いただいているものの、国が求めているような7割の在宅勤務は現状では不可能です。仮に、強固なセキュリティが施され、専用回線などを用いたネットワーク環境が整備されれば、私たちのような業務でもテレワークは可能になるのかなと考えています。

そもそもTTピーエムはセキュリティを重視した運用実績でお客様からの信頼を獲得してきた会社です。たとえテレワークでも個人情報や機密情報をしっかり運用管理できるという実績が積み重なれば、それは新たな会社の売り、ビジネスの種にもなっていくのかなと思っています。

石田さん: 私はどうしても委託元の目線になってしまうのですが、デジタル化についても、ユーザーや運用管理の観点から見て、いかにシステム



に制約されないような対応力を培っていくのかというところがテーマだと考えています。今後、業務系BPOサービスに注力していくということであれば、オペーレーションを確実にこなしていくということはもちろんのこと、業務サイドの観点から『こういう機能があれば、より利便性が高まる』などといった提案ができるように、常に問題意識を持って業務にあたること、自分たちのコアコンピタンスをきちんと定義するということがなにより重要だし、TTビーエムの将来にもつながっていくのかなと考えています。

大塚さん:私はコロナ禍ということで、大きな変化を体験した1年になりました。業務でいえば展示会はすべてオンラインになりました。委託元ではリアル開催をオンラインでどのように実施していくか試行錯誤を繰り返していたようで状況が大きく変わっていきました。私たちの部署には広報・広告を担うグルーブがあり、お客様事例を制作する際には、お客様取材も多くがオンラインになりました。また、営業教育に携わっているグルーブもありますが、集合研修の多くがオンラインによる実施に変わったと聞いています。このような状況下で、私たちは委託要件に沿った立場で、適切に動かないといけないですし、今自分達ができることは何かを考え前向きな姿勢でいることが、TTピーエム社員としての目指す姿なのかなと思っています。

芝本さん:私もコロナ禍との関連でお話ししますと、業務内容が紙で 手続きするものがほとんどなので、なかなか在宅勤務できていないと いうのが現状です。繁本さんがおっしゃったように、ワークフロー承認などが社内に導入されれば、在宅勤務でも対応できるようになると思いました。その一方で、在宅勤務が普及すればするほど、社員間のコミュニケーションが希薄になってしまうことは少し気がかりです。せっかくの35周年なのに、この座談会もオンラインです。かつては周年記念パーティも実施しましたし、社員旅行やクルーズ船での食事会、バス旅行など社内交流の機会はたくさんありました。石田さんや大塚さんのように転籍してきた方たちとお話する機会もなかなか作れないので、コロナが落ち着いたら、ぜひそうした機会を復活させたいと思っています。

一貴重なご意見、ありがとうございました。芝本さんをはじめ管理 部のみなさんはそういったことを考えるのも仕事なのですね。 では、業務から離れた部分でも構いませんので、TTピーエムは 将来こうあってほしいというご意見はありませんか。

芝本さん:私は新卒定期採用の最後の世代で、10年以上後輩がいませんでした。10年後に初めて後輩ができたとき、仕事を教えるのにとても苦労しました。教えることも当人のレベルアップになるし、重要な仕事だと思います。なので、フレッシュな人に入ってきてほしいなと思っています。 佐藤さん:私も社内の話になってしまいますが、35周年を迎えたにもかかわらず、まだ生え抜き社員の管理職が少ないということが少し残念 です。生え抜き社員の管理職が増えれば、キャリアプランの面でも参考になるし、そんな夢が見られるような会社であってほしいと思います。

トランスコスモス社との 関係性について

一では最後に、親会社となったトランスコスモス社とのコラボレー ションという観点から、考えておられることがあればご紹介ください。

鶴元さん:私が兼務している業務系BPOサービスについては2020年8月からプロジェクトが始動し、トランスコスモス社とのコラボレーションが始まっています。彼らは事例が豊富で、こういうときにはこうすればいいという多くのノウハウを持っていると感じています。これをいかにTTビーエムに吸収していくのか、お付き合いを深めながら追求していきたいと考えています。まだプロジェクトとして案件化できていない状態ですが、少しずつ拡大していければいいなと思っています。

水野さん: 先ほどの海外の低コストな競合に対抗することにつながりますが、トランスコスモス社には海外にも拠点・グループ企業がありますので、協力体制が構築できれば海外からのデータ調達などもできるのではないかと思っています。 海外スタッフに対するフォロー、ツールやセキュリティの問題など、課題はたくさんありますが、それらをひとつひとつクリアしていければと思います。

大塚さん: 私たちのグループにはインサイドセールス業務に携わって いるメンバーもいますが、トランスコスモス社にもコールセンターの部門 があると聞いています。 そこでノウハウを共有できれば、お互いのレベル アップにつながるのかなと思います。

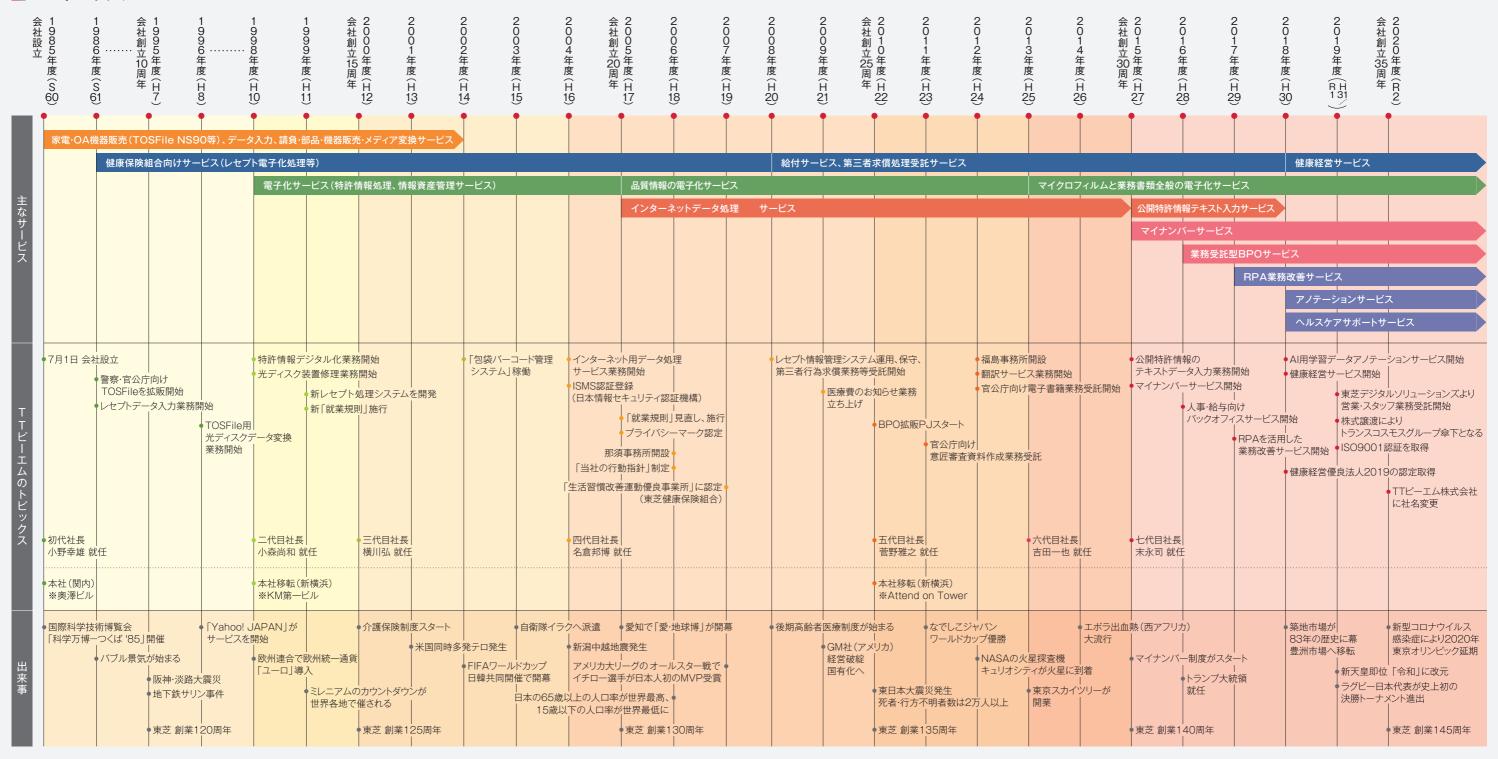
石田さん: これから自分たちになにができるのか、そんな観点から、自分たちの技術やスキルがどの程度のレベルなのかという見極めができるような、客観性のあるものさしをトランスコスモス社には期待しています。 世に求められる技術やスキルは、ルールや環境によって変わっていくものですから、トランスコスモス社とのコラボレーションは、時々刻々で変わっていく要件を取り込まさせてもらういい機会になると思っています。

また、コロナ禍で電子承認や注文書や契約書の電子化などのお問い合わせも増えています。今は情報を集め、セキュリティ基準を固めるなど、下地づくりのフェイズにあると思います。その部分についてもいろいろなノウハウや情報を共有し、コロナ禍が一段落してきたときに一挙に攻勢に出られるように、歩調を合わせていくことが重要なのではと考えています。

佐藤さん:そうですね。既存業務でも新しいビジネス領域でも、トランスコスモス社のノウハウを共有する機会を設けて、BPOサービスを拡大していきたいですね。

 $_$ 5

■ 35年のあゆみ



創業のころ



▲ 関内 奥澤ビル 本社



▲ TOSFileを使った作業風景

売上高と人員推移



経営ビジョン

高生産性、高品質で、セキュアなBPOサービスでお客様のビジネスに貢献する データ活用による新たな価値創造を支援する 社会的責任を果たすとともに人として企業として成長する

行動指針

私たちは、誠実に以下の行動を実践します

- 1. あらゆる場において倫理観をもって責任を果たします
- 2. お客様の声を全て発想の原点とし、お客様の成功と満足に貢献します
- 3. プロセスを変革し、高い品質とスピードを追求します
- 4. 常に世界のベストプラクティスを学習し、実践します
- 5. 変化をチャンスと捉え、リーダーシップを持って高い目標に挑戦します
- 6. オープンでクロスファンクショナルな行動を実践します
- 7. コミュニケーション能力と高い専門性を磨きます
- 8. 社員が活き活きと働ける環境作りを目指します

当社の強み

セキュリティ

安心・安全な業務環境を実現する 高度な情報セキュリティ 対策

プロセス マネージメント

お客様からの信頼と高度な対応力の証し 最新業務にも追随する 多種多様な業務実績

技術·IT

生産性と信頼性の高いサービスを実現する 最新のITや システムの活用

■ 会社概要

名称 | TTピーエム株式会社

代表者 代表取締役社長 末永 司

所在地 〒222-0033

(本社) 横浜市港北区新横浜2-8-12

Attend on Tower(受付8F)



URL

TEL 045-470-2911(代表)

URL https://www.t-tpm.com/

Facebook https://www.facebook.com/TTProcessManagement/

Facebook



設立 1985年(昭和60年)7月1日

資本金 1,000万円

資本構成 トランスコスモス株式会社 80.5%

東芝デジタルソリューションズ株式会社 19.5%

拠点

本 社:横浜市港北区新横浜2-8-12 Attend on Tower 川崎東事務所:川崎市川崎区日進町1-53 興和川崎東口ビル18F

分 室:横浜市港北区新横浜1-17-12 インテリックス新横浜ビル 川崎SCC事務所:川崎市幸区堀川町72番地34 ラゾーナ川崎東芝ビル5F

福島事務所:福島県福島市松川町金沢字外手16-11 天王原9号館1F **分倍事務所**:府中市片町3-22 府中東芝ビル2F

那須事務所: 栃木県大田原市下石上1385番地

■ 業務内容

業務受託型BPOサービス

間接業務をはじめとして社内の様々な業務の全てまたは一部を受託して、標準化・効率化を進めることでコスト削減を実現

ソリューション型BPOサービス

社内の様々な書類の電子化やエントリー業務などをデジタル技術やツールを利用して効率的に実施

ヘルスケアサポートサービス

健康保険組合向けBPOサービス、医療データ処理、健康経営サポートなど幅広いサービスを提供

業務改善サービス(RPA)

「RPA+AI-OCR」の活用によりさまざまな業種、業務に対応したサービスを提供することによりデジタル化を推進

アノテーションサービス

AIの質を決めるアノテーション作業を豊富な経験と多様な体制で実施











組織·人

お客様の様々な課題を的確に解決する

高度な業務知識と

経験を兼ね備えた

サービス人材

10